



楊浩勇 (Hao-Yung Yang) > HP

慶応義塾大学医学部卒、医師。同大医学部医療政策・管理学教室で病院マネジメントと医療情報の研究を行い、マイクロソフト等の出資を得て医療ITベンチャーを創業。電子カルテ等医療関連のIT事業を始める。同社をソフトバンクにM&Aし、米医療IT大手WebMDの日本法人の設立を手がけ同社取締役役に就任。同社退任後、医療法人健究社を設立、日医総研客員研究員としてORCAプロジェクトに参画。その後、Harvard School of Public Health研究員を経て、2007年に株式会社メディ・ウェブを創業。日本アルトマーク社長を経て、現職就任。慶應義塾大学部非常勤講師、福島県立医大非常勤講師、医療法人健究社理事長を兼務。

本日のセミナー内容

1. 診療報酬の改定がもたらす影響
2. マーケティング及びマネジメントの重要性
3. データとITを活用した診療と医院運営
4. ICTをツールとして活用する

1. 診療報酬改定による影響

点数
加算
ルール
査定

- 
- 経営(売上、利益)
 - 診療内容
 - 医師－患者関係、患者の苦情
 - 患者の受診動向
 - 提供体制及びコストの見直し
(人、施設、機器、原材料、外注)

1. 診療報酬改定による影響

$$\left(\begin{array}{c} \text{診療報酬} \\ \text{平均単価} \end{array} \times \text{患者数} \right) - \text{コスト} = \text{収益}$$

-2% -3% +2% ?

シミュレーション

前	600点/患者 1,500人/月 (900万/月)	800万/月	100万/月
後	588点/患者 1,455人/月 (855.5万/月)	816万/月	39.5万/月 (-60%)

1. 診療報酬改定による影響

今回の改定①:消費税増税の影響

スマイル眼科の昨年実績をベースに試算

消費増税で、納税はどれだけ増えるか？

250万(5%時) → 400万(8%時)
= 150万の負担増

年約150万円の負担増

今回の改定における
消費増税対応の増収は？

初診料: +12点X10,000(**42%**)=120万増
再診料: +3点X13,800(**58%**)=40万増

年約160万円の増収

初診の割合が少ないと、増税負担分はカバーできない

1. 診療報酬改定による影響

今回の改定②：強弱の付け方

比較的高額で、普及してきた検査や治療の減点が目立つ

		改定前	改定後	増減	増減率
マイナス改定	アデノウイルス	210	204	-6	-2.9%
	眼底カメラ	56	54	-2	-3.6%
	角膜異物除去	650	640	-10	-1.5%
	網膜光凝固<通常>	11200	10020	-1180	-10.5%
	網膜光凝固<特殊>	18100	15960	-2140	-11.8%
	虹彩光凝固術	7710	6620	-1090	-14.1%
	後発白内障	1520	1380	-140	-9.2%

1. 診療報酬改定による影響

今後

■診療報酬の方向性

財政問題、人口構造 → 医療費抑制の方向

政策的に誘導するベクトル

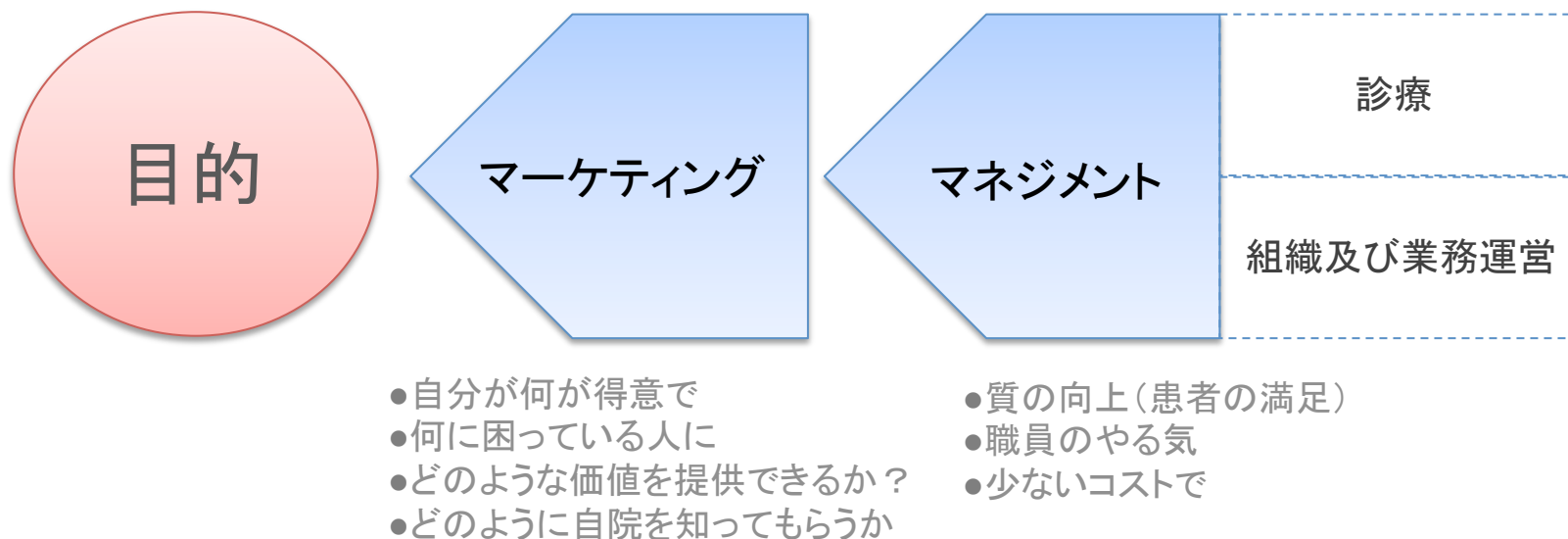
- ・病棟から外来及び在宅に
- ・普及した新技術や診療スタイルは、点数を下げる
- ・デジタル化の方向性←連携
- ・実績評価や、データ提出

■向き合う現実

- ・「一般社会的な認識は医師不足」であるが、現実には「医院過剰状態」
- ・人件費などコストの増大傾向
- ・患者の消費者意識の増大

2. マーケティング及びマネジメントの重要性

目的を達成するためには、マーケティングとマネジメントが大事



診療報酬改定時は、目的、そしてマーケティングとマネジメントについて再考する機会になるのでは？

3. データとITを活用した診療と運営

マーケティングとマネジメントの実例:

■ 日報、月報 (実例)

■ 患者満足度調査 (実例)

3. データとITを活用した診療と運営

日報

スマイル眼科の実例

2014年日報.xlsx

新規作成 開く 保存 プリント インポート コピー ペースト 書式 元に戻す やり直し オートSUM 挿入 削除 ギャラリー ツールズ

	MS Pポック	9	B	I	U	色	背景色	罫線	塗りつぶし	文字色	文字背景色	罫線	罫線色	罫線スタイル

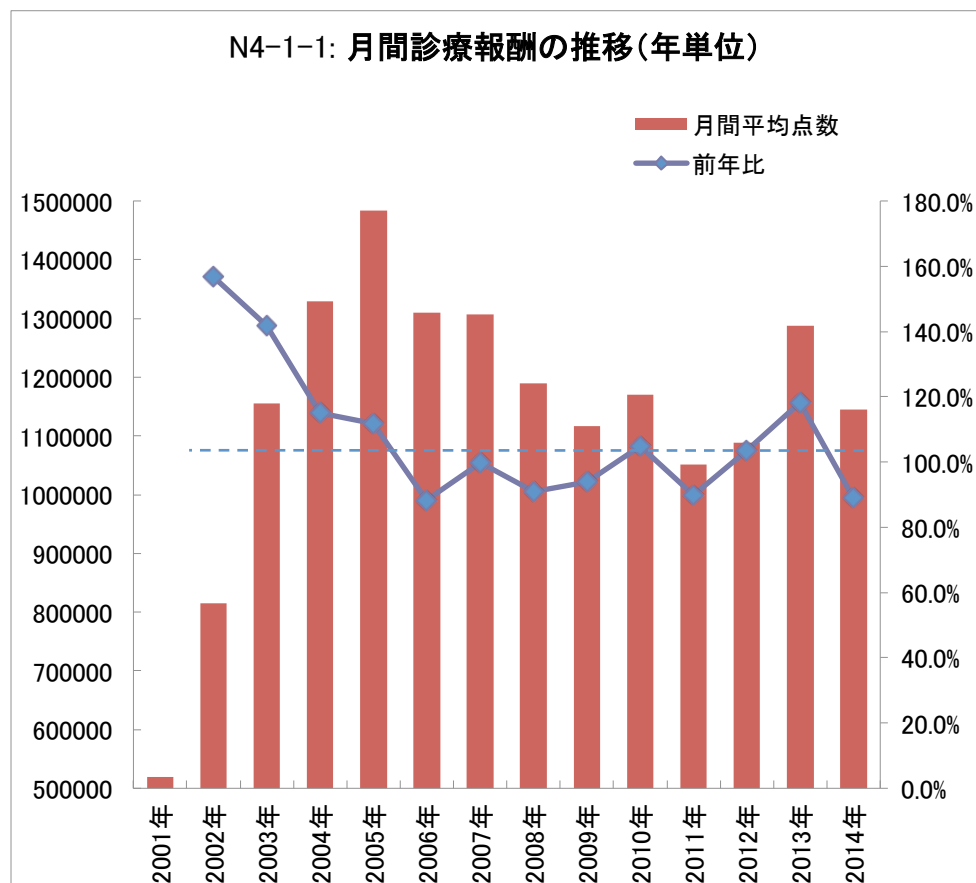
3. データとITを活用した診療と運営

月報

① 患者数診療報酬

② 来院媒体調査

スマイル眼科の実例



3. データとITを活用した診療と運営

患者満足度調査(PS)

患者から診療面と対応面での評価を聞き、経時的な変化を調べる

従来の紙を使った調査では、大量のデータをPCに入力するのがとても手間で、分析にも時間がかかった

3. データとITを活用した診療と運営

患者満足度調査(PS)

タブレット端末を使った患者満足度調査



4. ICTをツールとして活用する

従来の医療IT:

- 割高感
- 難しい、使いにくい
- データの活用が困難
- システム同士の接続困難



新しいアプリの利用形態:

- ◎クラウド技術
- ◎タブレット端末
- ◎一部企業の広告やスポンサー



4. ICTをツールとして活用する

診療支援サービス  3Bees



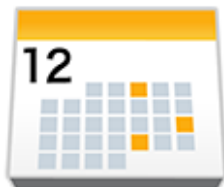
簡単、即戦力、しかも格安

4. ICTをツールとして活用する

診療支援サービス 3Bees

Bee診察予約

予約管理もオンライン予約も、
これひとつで。



Bee診察順番表示

どこからでも、
「あと何人」を、ひと目で。



Bee次回受診目安票

再受診のお約束や、
大切なメッセージを、紙で手渡し。



Bee患者満足度調査

iPadでカンタン入力、
カンタン解析。

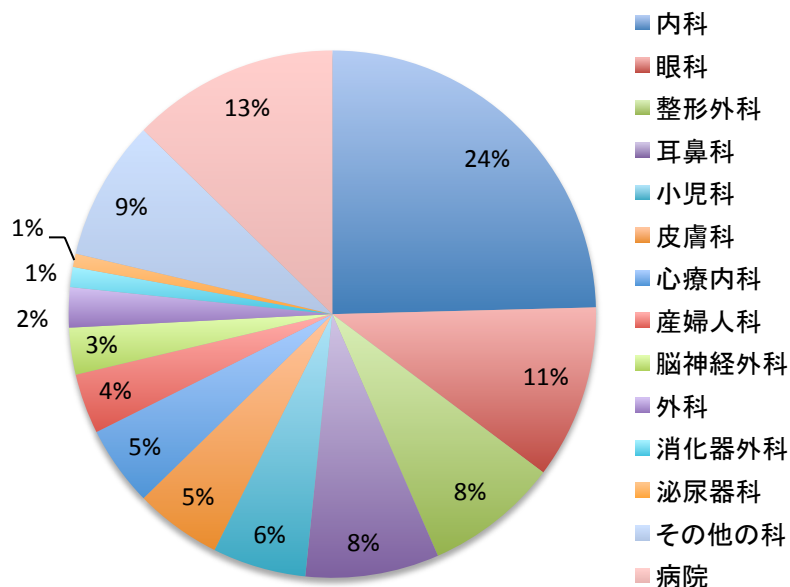


4. ICTをツールとして活用する

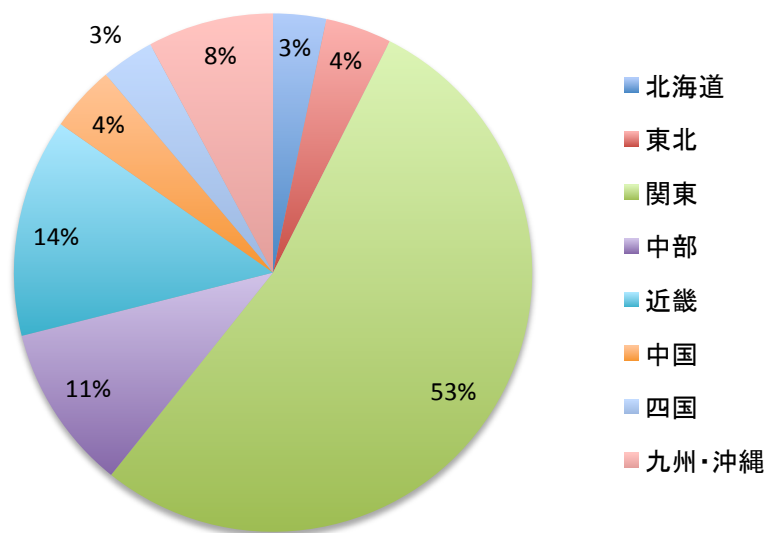
診療支援サービス 3Bees

約1年で
約780施設、25万人以上の患者様に
ご利用いただきました

診療科目別の登録状況



地域別の登録状況



4. ICTをツールとして活用する

診療支援サービス 3Bees

患者サービス系アプリ

予約
順番表示
次回受診目安票
患者満足度調査

診察業務系アプリ

【エクステンジ】:レセや電カルとの接続モジュール
【患者管理】:患者基本情報の管理
【ファイリング】:患者情報ファイリング+スキャン
【e問診】:タブレットを使った問診
【オーダーリング】:病名、処方、会計入力
【日報月報】:日々の診療業務管理
【ダッシュボード】:臨床と業務のデータ指標

周辺業務や サービスの連携

臨床検査
治験
医療機器
情報サービス
物品購入
外注サービス など

5. お知らせ

- ① 3Beesのお試しID/パスワードを、本日お越しの皆様にメールで送信させていただきます。どうぞお試しください。
- ② **3Bees Lounge@Akihabara**: 3/15, 16:00-2030
クリニックの経営やICT、そして3Beesに関する交流会。
- ③ 本日の講演のダイジェスト版、及び、日報/月報の雛形は、後日3Beesでご利用できるようにいたします。

ご清聴ありがとうございました。